

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月15日(月)

事務事業		福祉政策事務			担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	24111
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり			根拠法令 個別計画等	市町村計画献血者確保促進事業費補助金交付要綱、社会福祉法、深谷市福祉基金条例、深谷市地域福祉計画			
	小項目	1	地域福祉の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		献血事業の啓発や支援、福祉基金の管理など、福祉政策全般にかかる多様な事務を行う。								
目的 ※何のために		住民が互いに支え合う地域共生社会の実現のため等。								
対象 ※誰・何を対象に		市民や献血協力団体、福祉基金等。								
手段 ※どのように		献血事業の啓発、基金の管理等を行う。								
成果 ※何を求めるか		地域福祉の推進が図られるとともに、多様化する福祉サービスに適切に対応できる。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	献血促進事業	68,000
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	福祉基金積立金	410,300
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	0
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	価格高騰重点支援給付金給付事業	0
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	ウクライナ避難民支援事業	1,760,800
本事業の 主な業務		・ 献血事業の啓発や支援							・	
		・ 寄付金及び預金利子積立							・	
		・ 価格高騰重点支援給付金の給付							・	
		・ ウクライナ避難民支援							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

※令和7年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画	献血周知、啓発品配布、基金積立、臨時特別給付金等給付、ウクライナ避難民支援	献血周知、啓発品配布、基金積立、重点支援給付金給付、ウクライナ避難民支援	献血周知、啓発品配布、基金積立、価格高騰重点支援給付金の給付、ウクライナ避難民支援	献血周知、啓発品配布、基金積立、価格高騰重点支援給付金の給付、ウクライナ避難民支援	献血周知、啓発品配布、基金積立、ウクライナ避難民支援	
事業費	予算(現額)	1,361,099,000	1,718,269,000	1,259,903,000	169,669,000	2,795,000
	決算額	971,875,360	1,204,623,898	953,644,452	48,173,049	0
	財源内訳	国支出金	904,254,859	1,180,149,788	916,828,071	45,933,949
		県支出金	64,000	64,000	64,000	64,000
		地方債	0	0	0	0
		他特定財源	4,102,013	186,304	223,200	410,300
		一般財源	63,454,488	24,223,806	36,529,181	1,764,800
						2,340,000
人件費	従事職員数(人)	0.88	1.58	1.33	1.13	1.13
	人件費相当試算※	6,925,211	12,656,061	10,935,581	9,579,117	9,953,593
総事業費試算		978,800,571	1,217,279,959	964,580,033	57,752,166	12,748,593

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	献血協力団体確保数（延べ数）	目標値	団体	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00
		実績値		92.00	91.00	99.00	93.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		埼玉県献血計画に基づく/実献血協力団体数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	年間福祉基金積立金額	目標値	千円						
		実績値		300.00	186.00	223.00	410.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度末積立金						
	実績値の算出式								
成果指標 1	市内献血者数（延べ人数）	目標値	人	3,024.00	2,982.00	2,943.00	3,081.00		
		実績値		2,648.00	2,580.00	2,758.00	2,564.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		埼玉県赤十字献血センターの目標値 / 実協力献血者数						
	実績値の算出式								
成果指標 2	基金積立残高	目標値	百万円						
		実績値		97.00	97.00	97.00	97.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度末積立残高						
	実績値の算出式								
成果指標 3	地域福祉計画の中間評価	目標値	%	0.00	60.00				
		実績値		0.00	76.70	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		第3次地域福祉計画の6ヶ年計画の中間評価のため60%とする / 事業別評価達成率（B以上）						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	献血協力団体数の実績値は、93団体で目標値を上回った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	実協力献血者数の実績値は令和6年度2,758人、令和7年度2,564人と横ばいとなっている。
			評価者 福祉政策係長 蓮沼 仁志

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	献血については、埼玉県赤十字献血センター及び協力団体と連携を図りながら、市民等への啓発に努めることができた。また、福祉基金については、管理を適正に行い、多様化する福祉サービスに有効活用できるよう備えている。
			評価者 福祉政策係長 蓮沼 仁志